

経営比較分析表（令和6年度決算）

徳島県 三好病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	透1 訓 方	救 臨 感 へ 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
700,409	21,887	-	第1種該当	7：1

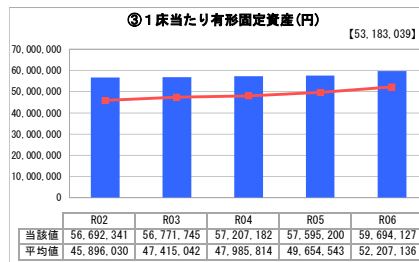
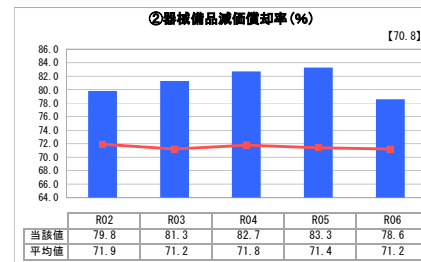
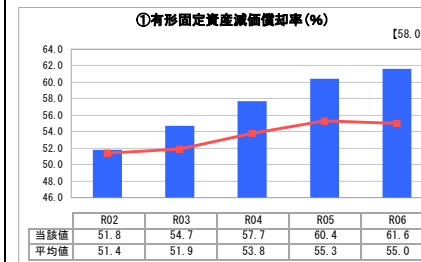
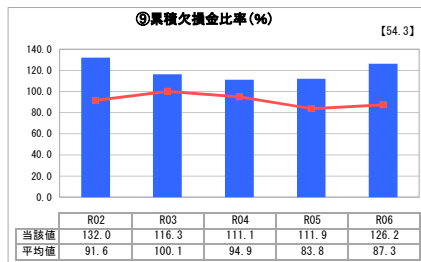
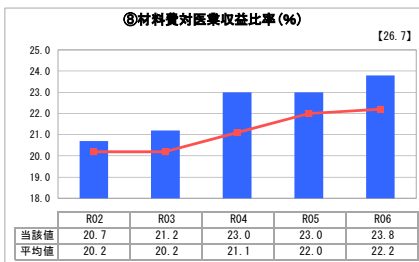
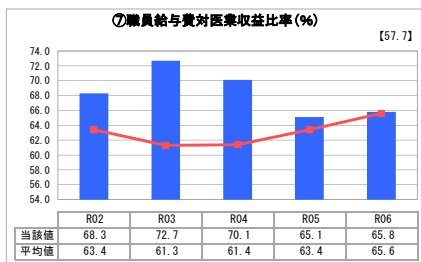
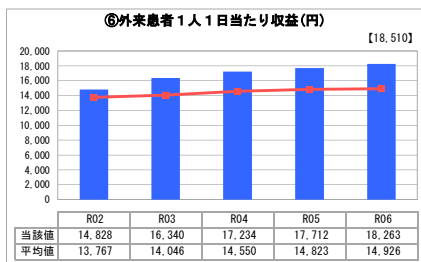
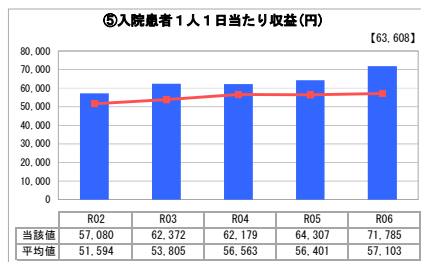
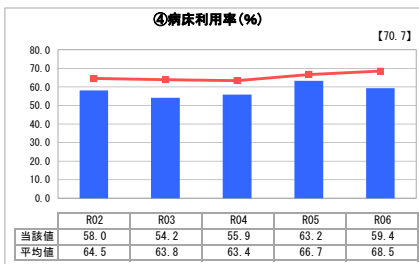
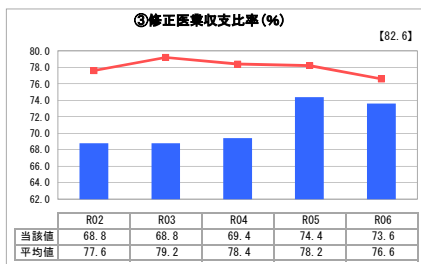
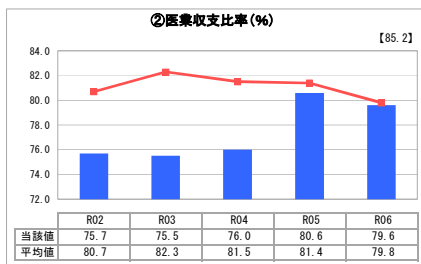
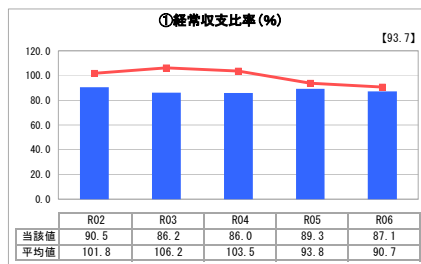
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
206	-	8
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	220
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
154	-	154

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
■ 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の病院・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

三好病院の診療圏の大半を占める三好市及び東みよし町は、山間部が多く、若年層の流出と少子高齢化、過疎が進行している地域となっており、高齢夫婦世帯、独居老人世帯が大半を占めている。
当病院は県西部唯一の総合的な病院として地域に密着した役割を果たしており、特に救急医療関係の占める割合が高く、二次救急に加え、三次救急も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

県西部における医療連携体制の構築を目指し、地域内の病院との機能分化を図り、急性期病院として救急患者の受入や重篤な患者の治療を集中して行っていることから、診療単価は類似病院の平均値を上回っている。
令和6年度は、救急患者の受入件数や手術件数の増加により前年度に比べ診療収益が増加したものの、①経常収支比率、②医療収支比率、③修正医療収支比率は、類似病院の平均値を下回っており厳しい経営状況となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、平成26年度に改築を行い、全国平均より低い数値で推移していたが、減価償却が進み、令和2年度以降は類似病院の平均値を上回っている。
②器械備品減価償却率は、平成26年度の改築に合わせて医療器械等の整備を行い、平成28年度までは類似病院の平均値より低い数値となっていたが、減価償却が進み、平成29年度以降は類似病院の平均値より高い数値となっている。

全体総括

令和5年度以降、収益面では経営効率化の取組により医療収益の改善傾向が見られるものの、物価高騰や人件費の上昇による経費の増加等により、費用が収益を上回る厳しい経営状況が続いている。

今後の経営にあたっては、「四国中央部の拠点」として急性期医療機能の発着を目指して、手術室の増設による手術件数の増加に取り組みとともに、令和2年度に開設した高度先進関節脊椎センター等の整備を行い、平成28年度までは類似病院の平均値より低い数値となっていたが、減価償却が進み、平成29年度以降は類似病院の平均値より高い数値となっている。

また、医薬品、診療材料の共同購入等を推進して経費削減に努めるとともに、施設、医療器械の整備についても、投資効果を十分に検討した上で戦略的に整備を行うことで、更なる経営の効率化に取り組む。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。